

むすびに

現在、掛川市においては、「第2次掛川市行財政改革プラン（平成25～28年度）」を来年3月末までに策定する予定としている。

このプランこそ、今後の掛川市の命運を分けるもの、市民の幸福度を左右するものと言っても過言ではない。

この提言の内容を、しっかりプランに反映させ、実現に向け全力を尽くしていただきたい。それによって、市が目標とする各種財政比率が改善し、明るい未来が開けてくるであろう。

財政指標	平成22年度計画時	平成31年度目標値
経常収支比率	89.1%	83%以下
実質公債費比率	16.3%	13%以下
将来負担比率	152.2%	130%以下

（「掛川市長期(平成22～31年度)財政見通し」より抜粋）

なお、今回の2つのテーマ（歳出・歳入）に関する提言内容については、それぞれ独立したものと捉え、仮に歳入が予定より増加したとしても、歳出削減目標を減額、調整するなど手を抜くことのないよう対応願いたい。

地震・津波を含む安心・安全対策の充実強化が喫緊の課題として強く叫ばれる中、緩慢な対応は許されず、危機意識と協働の心を念頭に、市を挙げて最善の努力を傾注されることを重ねて要請する次第である。